

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	749 - 2244
部 名	生涯学習部	課 名	相模大野図書館		課長名	水見一一
事務事業名	相模大野図書館サービス経費					
予算上の事務事業名	相模大野図書館サービス経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					事業開始年度
施 策 名	第2施策 生涯学習活動の支援					平成元年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
図書館法、著作権法						
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習を支援し、視聴覚資料(ビデオ、CD)資料の収集及び視聴覚障害者サービス(録音図書等の収集等)を実施し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資する。 読書普及啓発のための事業を実施する。 著作権法(31条)に基づく複写サービスを実施する。 				市民(他に、在勤在学者、広域利用協定締結市市民他)		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
	購入点数	所蔵点数	貸出点数	H15購入予算額(執行済額)		
ビデオ	20点	5,963点	45,496点	210,000	209,895	
CD	90点	5,213点	34,948点	205,000	204,946	
録音図書		2,047点	80,721点			
読者普及講座(実施回数 1回、参加者 66人)						
複写サービス(利用 79,709枚)						
5 関連・類似事業や他市の状況						
	横須賀	厚木(H13,10開始)	大和	藤沢	町田	
ビデオ所蔵	3,777(本市を1として0.6)	,643(0.6)	657(0.1)	7,066(1.2)	10,751(1.8)	
貸出	5,027(0.1)	4,730(0.1)	222(0.0)	100,927(1.6)	172,508(2.8)	
C D 所蔵	2,534(0.5)	25,868(5.0)	3,944(0.8)	79,858(15.4)	25,761(5.0)	
貸出	1,575(0.1)	188,802(5.5)	3,114(0.1)	457,990(13.4)	185,862(5.5)	
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	5,712	4,077	2,988	3,081	3,081	
一般財源	5,712	4,077	2,988	3,081	3,081	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	35,452	29,817	29,997	29,997	29,997	
事業コスト合計(a)	41,164	33,894	32,985	33,078	33,078	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	相模大野図書館サービス経費			対象名称(単位)	サービス経費/登録者数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	5,712	4,077	2,988	3,081	3,081	
対象数	63,112	58,828	57,459	57,000	57,000	
単位あたり経費(円)	91	69	52	54	54	
前年度比		0.77	0.75	1.04	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	視聴覚資料購入目標達成率	指標式と指標の説明	視聴覚資料購入目標を予算執行状況により把握。 415 / 415 × 100 = 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度			1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	視聴覚資料貸出回転率	指標式と指標の説明	全視聴覚資料の平均貸出を算出し、活用割合を把握。 80,721 / 13,223 × 100 = 610		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	726.0	750.0	610.0		
目標	0.0	0.0	0.0	700.0	700.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業		
	[]	：概ね良好な状況である事業		
	[]	：見直しを行う必要がある事業		
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業		
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		視聴覚資料については、図書館利用を促進する有効な媒体であり、市民の余暇の拡大等に伴い今後、ますます需要が促進されるものと推測される。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
図書資料充実経費と同様に、本事業経費の充実安定化を図るため、窓口事務については、パートナーシップによる住民参画を促し、人的資源を広く地元へ求め、地域密着型図書館として、NPO法人への委託化が望ましい。			著作権法の制限から単位当りの作品が非常に高価であると同時に人気作品は手に入らないなどの問題がある。ハードを含めたビジュアルの進歩に財政が追いつけず、市民要望に答えられない。民間業者との役割分担が明確とならない。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		民間事業者との役割分担を整理する。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			